

令和 8 年度

第 1 回 高崎市群馬地域振興協議会 次第

日 時：令和 8 年 7 月 2 3 日（木）

午前 1 0 時 3 0 分～

場 所：群馬支所 3 階 3 1 1 会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

（１）群馬地域に関わる事業報告について

（２）群馬地域のまちづくりに関する意見について

4 閉 会

<配布資料>

資料 1 群馬地域に関わる事業報告一覧

資料 2 群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

参考資料 令和 8 年度 当初予算の概要

群馬地域に関わる事業報告一覧

ページ	事業名	所 属 (支 所)
1～2	北谷遺跡保存整備事業	教育部文化財保護課
3～5	群馬中央第二土地区画整理事業	都市整備部区画整理課
6～7	主要地方道 前橋安中富岡線 (西毛広域幹線道路(高崎工区))道路整備事業	都市整備部都市計画課
8～11	堤下線街路事業	都市整備部都市施設課

群馬地域に関わる事業報告書

事務事業名	北谷遺跡保存整備事業	所属 (支所)	教育部文化財保護課
実施期間	平成12年度～全期	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対 象	史跡指定地の保存整備		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
国指定史跡北谷遺跡(平成 17 年 7 月 14 日指定、令和 2 年 3 月 10 日追加指定)を適切に保存・管理するとともに、市民共通の歴史遺産として活用を図る。	市民共有の歴史遺産である北谷遺跡を後世に伝えていくために、史跡地の公有地化や内容確認発掘調査を進める。	指定面積 3.8ha 平成 12～15 年度 史跡範囲確認調査 平成 16 年度 調査報告書刊行 平成 23 年度 保存管理計画策定 平成 28 年度～ 公有地化 令和 5 年度～ 史跡内容確認発掘調査	

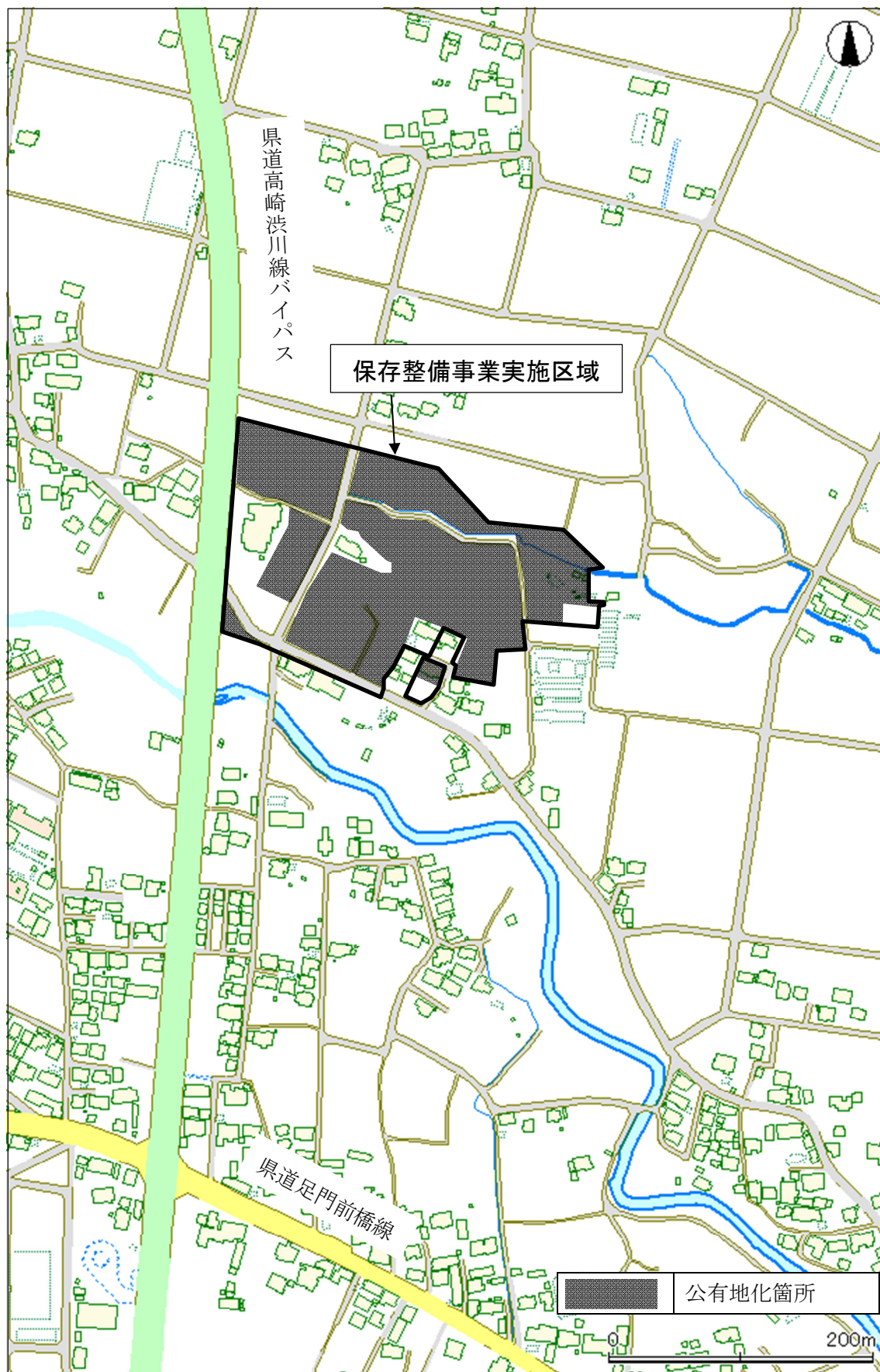
【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和 7 年度事業実績
合計	5,482	5,431	・史跡地の発掘調査 ・史跡地(既取得地)の除草管理 ・10月5日に発掘調査説明会開催
国	1,646	1,646	
県	493	494	
地方債	0	0	
その他	0	0	
一般	3,343	3,291	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和 8 年度事業予定
合計	5,802	・史跡地の発掘調査 ・史跡地(既取得地)の除草管理 ・発掘調査報告会開催
国	1,677	
県	503	
地方債	0	
その他	0	
一般	3,622	

北谷遺跡保存整備事業用地



群馬地域に関わる事業報告書

事務事業名	群馬中央第二土地区画整理事業	所属 (支所)	都市整備部区画整理課
実施期間	平成9年度～令和15年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	中央第二土地区画整理事業		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
合理的な土地利用と公共公益施設の整備を進め、快適な住環境を備えた健全な市街地を形成する。	土地区画整理事業により整備する。	【施行面積】 72.02ha 【総事業費】 13,660 百万円 【事業進捗率】 R7 年度末 65.0%	

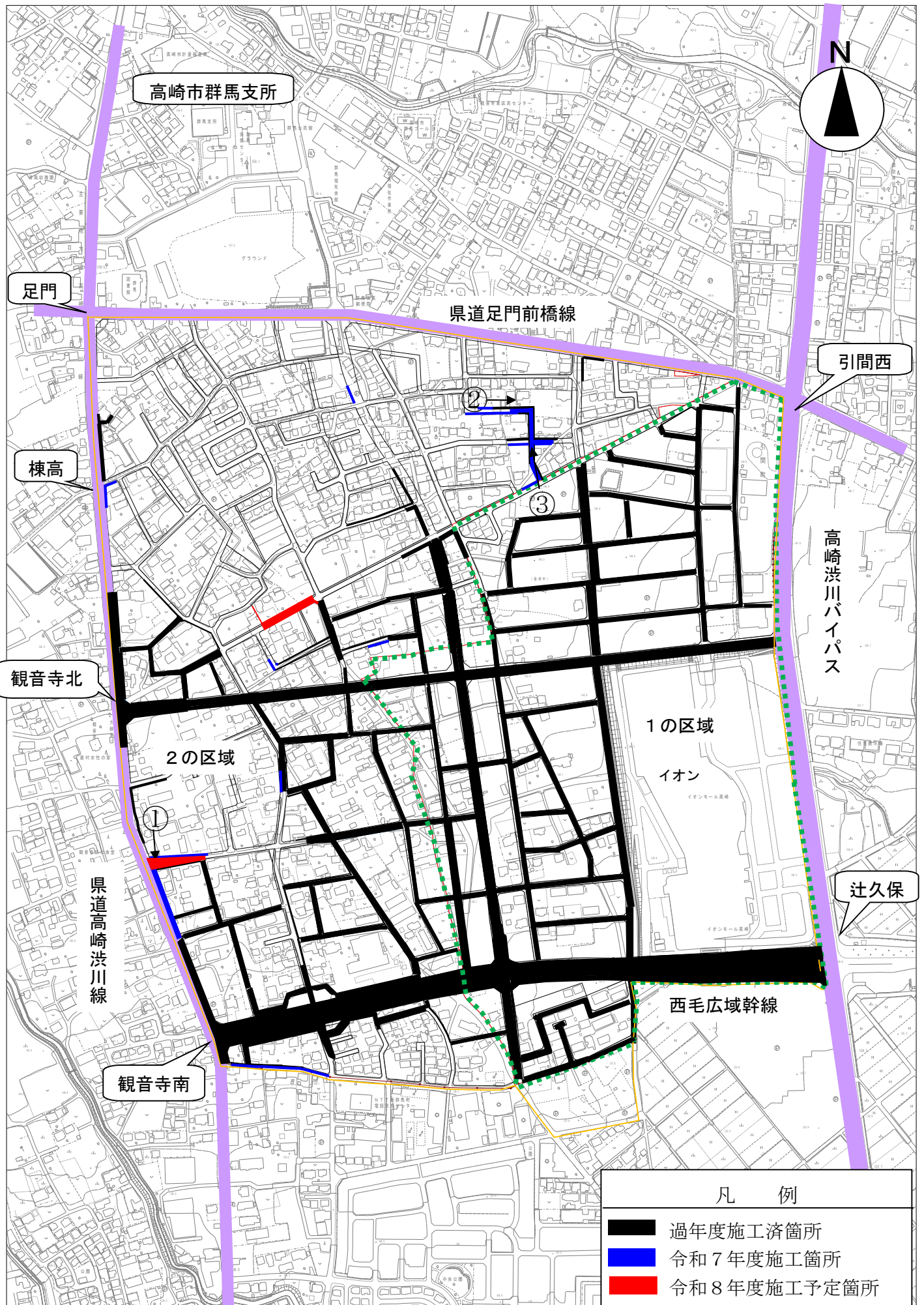
【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和7年度事業実績
合計	300,547	300,477	・道路築造工事外 ・建物調査委託外 ・建物移転補償物件外
国	122,311	122,311	
県	－	－	
地方債	66,700	69,000	
その他	71,881	46,060	
一般	39,655	36,106	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和8年度事業予定
合計	320,994	・道路築造工事外 ・建物調査委託外 ・建物移転補償物件外
国	128,984	
県	－	
地方債	61,500	
その他	74,505	
一般	56,005	

令和8年度 中央第二土地区画整理事業 位置図



中央第二土地区画整理事業

令和 8 年度

① 都市計画道路 高崎渋川線

〔 撮影方向 〕
北から南



② 区画道路 6－104号線

〔 撮影方向 〕
西から東



③ 区画道路 6－138号線

〔 撮影方向 〕
南から北



群馬地域に関わる事業報告書

事務事業名	主要地方道 前橋安中富岡線(西毛広域幹線道路(高崎工区))道路整備事業	所属 (支所)	都市整備部都市計画課 (群馬支所建設課)
実施期間	平成 26 年度～令和 13 年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象			
実施目的	具体的手段	そ の 他	
災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、(主)前橋安中富岡線のバイパス整備を行う。 これにより、移動時間短縮や渋滞解消の効果が見込まれる。	地区毎に説明会を実施し、地域住民とともに道路計画を策定した。 今後も用地補償契約、埋蔵文化財調査を進めるとともに、本工事を推進する予定。	全体延長 L=3, 170m	

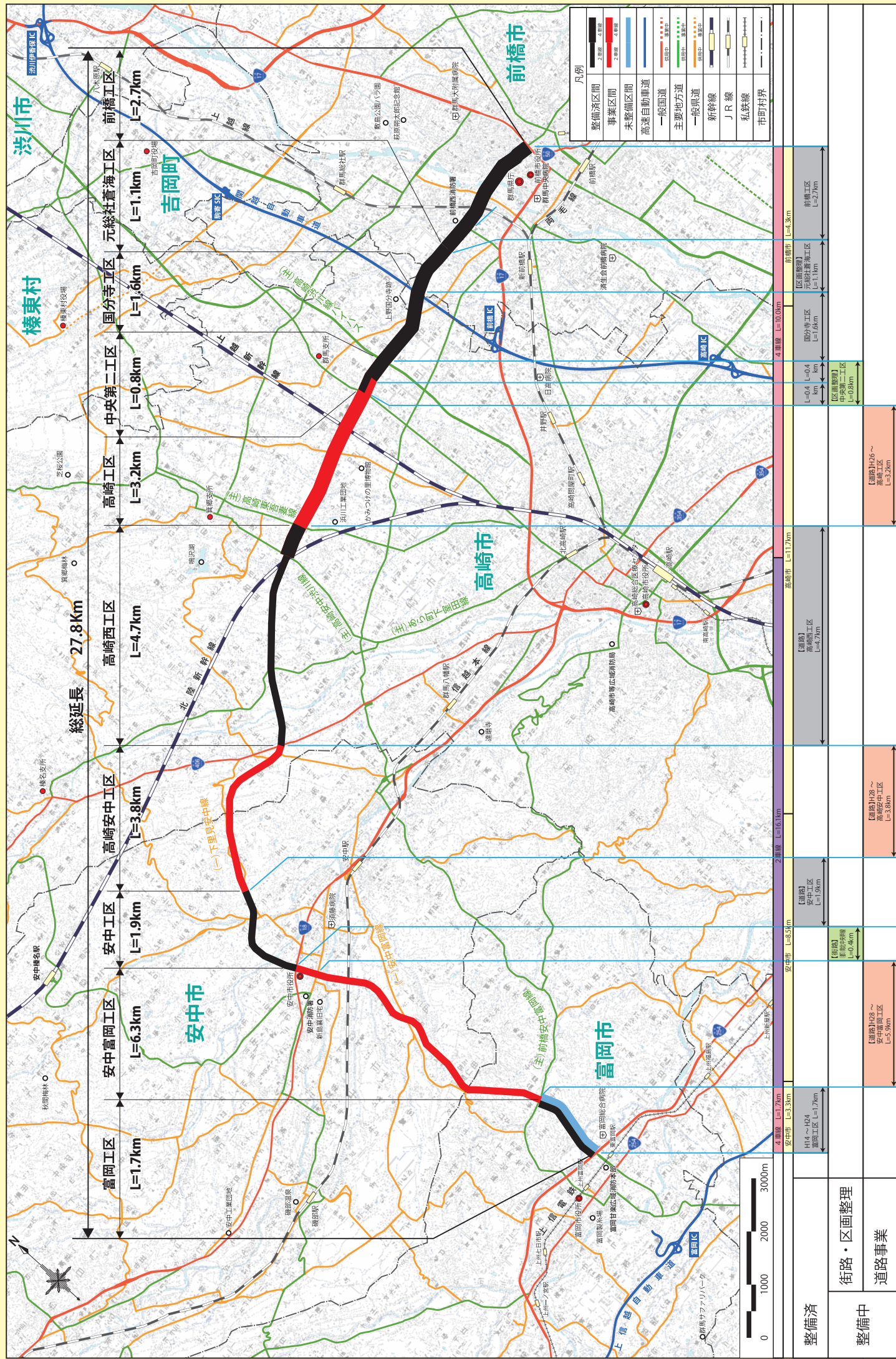
【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和7年度事業実績
合計	1,700,000	1,700,000	・新幹線跨線橋(A1 橋台、P1・P2・P3・P8 橋脚)継続工事 ・新幹線跨線橋(A2 橋台、P6・P7 橋脚)工事発注 ・天王川橋梁下部工(A1・A2 橋台)工事完成 ・天王川橋梁上部工 工事発注 ・大清水川函渠工 工事完成 ・道路改良・補強土壁工事 一式 ・用地買収・用地補償 一式 ・埋蔵文化財調査 一式
国	850,000	850,000	
県	850,000	850,000	
地方債			
その他			
一般			

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和8年度事業予定
合計	1,666,000	・新幹線跨線橋(A2 橋台、P6・P7 橋脚)継続工事 ・新幹線跨線橋(P9・P10 橋脚)工事発注 ・新幹線跨線橋(P4・P5 橋脚)工事着手(JR 東日本委託) ・新幹線跨線橋(A1 橋台、P1・P2・P3・P8 橋脚)工事完成 ・天王川橋梁上部工 工事完成 ・道路改良・補強土壁工事 一式 ・用地買収・用地補償 一式 ・埋蔵文化財調査 一式
国	916,300	
県	749,700	
地方債		
その他		
一般		

圖線路計劃



群馬地域に関わる事業報告書

事務事業名	堤下線街路事業	所属 (支所)	都市整備部都市施設課
実施期間	平成20年度～令和10年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

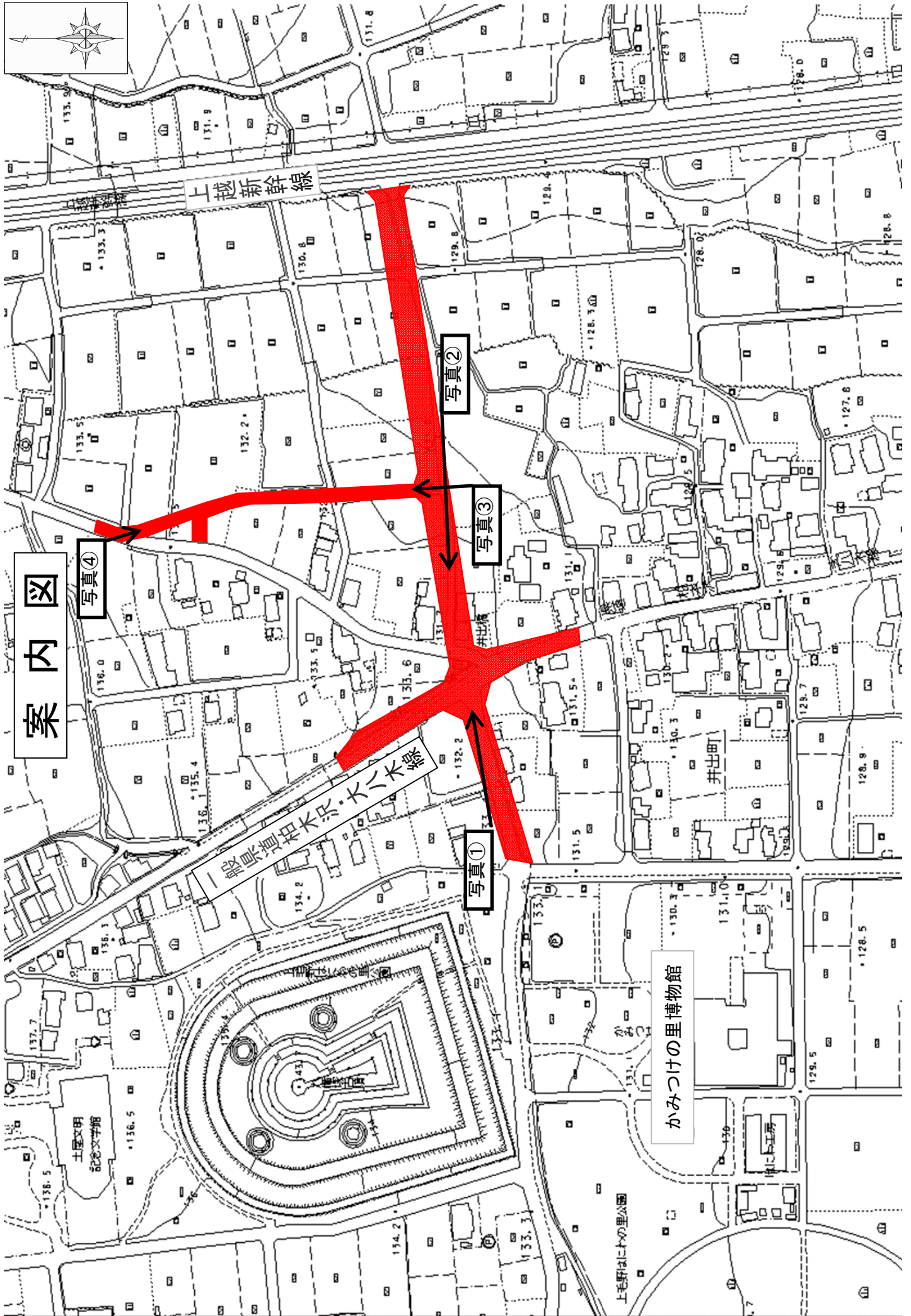
対 象			
実施目的	具体的手段	そ の 他	
県道交差点は変則五差路のため、安全性向上と交通渋滞の緩和を目的として実施	用地買収方式	事業延長 400m 幅 員 12m 全体事業費 436百万円 事業進捗率 76.9%(令和7年度末)	

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和7年度事業実績
合計	22,537	23,671	・用地買収費 ・物件移転補償費 ・文化財調査 ・道路築造工事
国	10,829	11,000	
県	—	—	
地方債	6,800	7,000	
その他	—	—	
一般	4,908	5,761	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和8年度事業予定
合計	50,045	・測量設計費 (実施中) ・道路築造工事 (実施中)
国	24,071	
県	—	
地方債	18,900	
その他	—	
一般	7,074	



写真①



写真②



写真③



写真④



群馬地域のまちづくりに関する意見一覧

群馬支所 地域振興課

■ 群馬地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
1. 野生動物への対応について	全国的に被害が発生している野生動物への対応について伺いたい。 最近、高崎市でもクマ出没情報が発信されている。併せて、実体験でも近隣市において家族が鹿と衝突事故を起こした経験があり、高崎市も例外ではないと思う。 高崎市では、野生動物からの被害に対してどのような対応を取られているのかお聞かせいただきたい。	近年、全国各地で野生動物による農業被害や人身被害、さらには道路上での交通事故などが発生しており、市民の皆様が不安を感じられていると認識している。 野生の動物は、鳥獣保護法に基づき、まずは保護されるべき存在であるが、市民の皆様の安全な生活や農作物に被害を及ぼしている野生動物については、「有害鳥獣」として、その対応を講じる必要がある。 本市では人と野生動物との適切な棲み分けが不可欠と考え、荒廃した竹やぶ等の整備を支援する「里山元気再生事業」や、農家の方への防護柵設置支援、猟友会と連携した捕獲活動などの有害鳥獣対策を推進している。 更に、クマへの対応については、現在のところ、高崎市内においてクマによる人身被害は発生していない状況である。 しかし、山間地域等を中心に目撃情報は寄せられており、いつ被害に発展するか分からない状況であるため、クマの目撃情報があつた際には、まずは目撃場所に出向き、特に目撃があつた場所が人家に近い場合には、猟友会、警察など関係機関と連携を図り、パトロールや安心ほっとメールの配信なども行い、状況に応じ猟友会と協力して、捕獲体制を強化する対応も取っている。 また、目撃情報の一元化と迅速な初期対応を可能にするため、「高崎市クマ出没 SOS 緊急ダイヤル」の運用や、ドローンを活用した大型獣対策、人の日常生活圏に出没した危険なクマ等を銃器で捕獲できるよう「緊急銃猟」の体制も整えている。 今後とも、市民の皆様の安全安心の確保を最優先に考え、関係機関とより一層緊密に連携を図り、実効性のある野生動物からの被害対策を講じていく。

■ 群馬地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
2. 環境問題について	国の施策として2020年7月から始まったレジ袋有料化は、海洋プラスチックごみの問題だけでなく、ごみの減量化推進を含め、国民の環境意識の向上を目的としたものだったと認識している。 日頃、ごみステーションの状況を見ると、リサイクルできるものが燃えるごみに含まれていたり、環境を取り巻く課題や問題に取り組む難しさを感じている。 そこで、2025年2月から新高浜クリーンセンターが稼働を始めたところだが、様々な環境施策に取り組むなか、過去と比較するごみの搬入量の推移などから、市民の環境意識の変化やごみの問題の改善に繋がるような成果が表れていたら、その状況を教えていただきたい。	本市の令和6年度の1人1日あたりのごみの排出量は、884g、群馬県の平均が930g、全国平均が839gとなっている。県平均より少なく、全国平均より多いことがわかるが、10年前と比較すると、本市は120g削減、群馬県は101g、全国平均は100g削減しており、本市の削減量は全国平均より優れ、市民の皆様のごみの減量化へのご理解とご協力によるものと認識している。一方で、ご指摘のとおり、未だにリサイクルできるものが可燃ごみに混入していることも事実であり、改善に向けては「ごみかわら版」やホームページ、SNS配信などを通じて、分別のルールを周知しているところである。 昨年2月から稼働している高浜クリーンセンターでは、地域団体の視察や市内小学校4年生の社会科見学など、幅広い世代の方々に学習機会を提供しているほか、当課では市民向けの「ごみの出し方、減らし方、活かし方」をテーマに出前講座を開催し、分別の重要性について、多くの市民が効果的に学べる啓発に取り組んできた。 ごみの排出量が着実に減少に推移していることは、市民の皆様の環境意識の高まりが明確な成果となって表れているものと受け止めている。

■ 群馬地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
3. 桜山小学校のエアコン設置について	高崎市内全部の中学校体育館にエアコンが設置され、小学校にも順次設置されとお聞きしている。 桜山小学校の体育館は風も入りにくいため、夏は特別暑く、児童数も多く、指定避難所にもなっているので、早期に設置をお願いしたい。	市内の学校体育館へのエアコン設置については、部活動での利用頻度が高い中学校を優先し、令和4年度より設置を進めており、今年度末ですべての中学校に設置が完了する予定である。 また、今年度から設置を進める小学校の対象校については、近年の台風等の災害において避難者の多かった井野川流域の学校を優先し、学校規模や地域バランス等も考慮しつつ、順次設置を進めてまいりたいと考えている。

令和8年度
(2026年度)

当初予算の概要

◇ 予算規模	1
◇ 一般会計予算の概要	2
1 歳入	
2 歳出(目的別)	
3 歳出(性質別)	
4 その他の資料	
◇ 【令和8年度当初予算の主要事業】	7

予 算 規 模

- ・ 一般会計 1,752億2,000万円（前年度対比＋6.4％）
- ・ 特別会計 814億5,993万円（前年度対比＋2.1％）
- ・ 水道事業会計 105億1,279万円（前年度対比＋0.9％）
- ・ 公共下水道事業会計 150億9,250万円（前年度対比＋2.8％）
- ・ 総予算 2,822億8,522万円（前年度対比＋4.7％）

〈各会計別予算〉

会 計 別	令 和 8 年 度 予 算 額	令 和 7 年 度 予 算 額	増減率
一 般 会 計	1,752 億 2,000 万円	1,647 億 0 万円	6.4
特 別 会 計	814 億 5,993 万円	797 億 9,572 万円	2.1
国民健康保険事業特別会計	335 億 8,678 万円	336 億 7,345 万円	△ 0.3
介護保険特別会計	400 億 9,671 万円	394 億 1,453 万円	1.7
牛伏ドリームセンター事業特別会計	1 億 3,577 万円	1 億 2,820 万円	5.9
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	7,112 万円	1 億 870 万円	△ 34.6
後期高齢者医療特別会計	74 億 7,494 万円	63 億 7,987 万円	17.2
農業集落排水事業特別会計	9,461 万円	9,096 万円	4.0
小 計	2,566 億 7,993 万円	2,444 億 9,572 万円	5.0
水道事業会計	105 億 1,279 万円	104 億 1,836 万円	0.9
公共下水道事業会計	150 億 9,250 万円	146 億 8,780 万円	2.8
合 計	2,822 億 8,522 万円	2,696 億 188 万円	4.7

※万円未満四捨五入。計欄の予算額と各会計の予算額の合計は一致しません。

一般会計は6.4%の増

主な新規・拡大事業

- ・ 体育施設への空調設備設置 0.6億円（新規）
- ・ 窓口DX事業 0.4億円（新規）
- ・ 放課後児童クラブの充実 13.3億円（＋1.9億円）
- ・ 児童相談所の運営 11.9億円（新規）
- ・ 長寿会活動等促進事業への補助 0.5億円（新規）
- ・ 出産祝い金の交付 0.6億円（新規）
- ・ 小栗公ゆかりの地観光促進事業 1.6億円（新規）
- ・ 堤ヶ岡飛行場跡地地区まちづくり事業 0.4億円（新規）
- ・ 豊岡だるま駅設置事業 15.9億円（＋7.3億円）
- ・ スマートIC周辺集客施設等整備 6.7億円（＋5.7億円）
- ・ 烏川かわまちづくり整備事業 3.8億円（＋3.1億円）
- ・ 市内全小学校の早朝開門 0.2億円（新規）
- ・ 学力アップ推進事業 0.5億円（＋0.1億円）
- ・ 学校体育館及び給食室への空調設備設置 6.2億円（＋0.6億円）
- ・ 小中学校給食費の完全無償化 17.5億円（＋7.3億円）
- ・ 公共施設の照明LED化工事 16.7億円（＋15.0億円）

主な終了・縮小事業

- ・ 国勢調査 終了（△1.9億円）
- ・ 新型コロナウイルス感染症個別予防接種委託料 縮小（△4.0億円）
- ・ 労使会館建設事業 終了（△0.9億円）
- ・ 市街地再開発事業 縮小（△4.0億円）

特別会計は2.1%の増

- ・ 国民健康保険事業特別会計 保険給付費の減額
- ・ 介護保険特別会計 介護サービス給付費等の増額
- ・ 後期高齢者医療特別会計 保険給付費負担金の増額

一般会計予算の概要

1 歳入

(単位：千円、%)

区 分	令和8年度		令和7年度		増 減 額	増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1 市 税	67,425,160	38.5	66,739,753	40.5	685,407	1.0
2 地方譲与税	1,285,720	0.7	1,309,025	0.8	△ 23,305	△ 1.8
3 利子割交付金	100,000	0.1	54,000	0.0	46,000	85.2
4 配当割交付金	500,000	0.3	400,000	0.3	100,000	25.0
5 株式等譲渡所得割交付金	700,000	0.4	720,000	0.4	△ 20,000	△ 2.8
6 法人事業税交付金	1,100,000	0.6	1,200,000	0.7	△ 100,000	△ 8.3
7 地方消費税交付金	10,500,000	6.0	10,000,000	6.1	500,000	5.0
8 ゴルフ場利用税交付金	90,000	0.1	90,000	0.1	-	-
9 環境性能割交付金	1	0.0	210,000	0.1	△ 209,999	△ 100.0
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	24,887	0.0	24,887	0.0	-	-
11 地方特例交付金	607,543	0.3	410,001	0.3	197,542	48.2
12 地方交付税	18,700,000	10.7	14,900,000	9.1	3,800,000	25.5
うち普通交付税	16,800,000	9.6	13,000,000	7.9	3,800,000	29.2
13 交通安全対策特別交付金	60,000	0.0	70,000	0.0	△ 10,000	△ 14.3
14 分担金及び負担金	340,129	0.2	329,738	0.2	10,391	3.2
15 使用料及び手数料	2,534,772	1.4	2,522,247	1.5	12,525	0.5
16 国庫支出金	30,400,934	17.3	27,987,365	17.0	2,413,569	8.6
17 県支出金	14,116,277	8.1	12,310,722	7.5	1,805,555	14.7
18 財産収入	301,310	0.2	286,606	0.2	14,704	5.1
19 寄附金	1,500,006	0.9	750,006	0.5	750,000	100.0
20 繰入金	6,002,055	3.4	5,824,835	3.5	177,220	3.0
うち財政調整基金繰入金	3,250,000	1.9	2,850,000	1.7	400,000	14.0
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	-	-
22 諸収入	13,882,805	7.9	15,211,514	9.2	△ 1,328,709	△ 8.7
23 市 債	5,048,400	2.9	3,349,300	2.0	1,699,100	50.7
合 計	175,220,000	100.0	164,700,000	100.0	10,520,000	6.4

- ◆ 市税は、674億2,516万円を計上しました。市民税個人は、所得や労働人口の実績等を反映させ前年度対比1.6%増の243億6,676万円、市民税法人は、景気の状態や企業業績等を踏まえ、前年度対比7.1%減の58億4,577万円、固定資産税は、大規模建物の建設及び企業の設備投資が見込めることから、前年度対比2.3%増の276億5,697万円を見込みました。
- ◆ 地方消費税交付金は、消費の伸びや実績等を勘案し、前年度対比5.0%増の105億円を見込みました。
- ◆ 環境性能割交付金は、環境性能割(自動車税)が廃止されることから存目としました。
- ◆ 地方特例交付金は、暫定税率(地方揮発油税)及び環境性能割(自動車税、軽自動車税)廃止に伴う減収額への補填を踏まえ、前年度対比48.2%増の6億754万円を見込みました。
- ◆ 普通交付税は、令和7年度の実績額に地方財政対策等を勘案するとともに、児童相談所運営による増額を踏まえ、前年度対比29.2%増の168億円を見込みました。
- ◆ 基金繰入は、財政調整基金から32.5億円(前年度28.5億円)、減債基金から8億円(前年度16.7億円)のほか、ふるさと応援基金から18億円(前年度10.5億円)等を計上しました。
- ◆ 市債は、市有施設における照明設備のLED化、豊岡だるま駅設置及び公園整備等の建設等事業債が増加することなどから、前年度対比50.7%増の50億4,840万円を計上しました。

2 歳出(目的別)

(単位：千円、%)

区 分	令和 8 年度		令和 7 年度		増 減 額	増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1 議会費	668,584	0.4	672,945	0.4	△ 4,361	△ 0.6
2 総務費	20,429,816	11.7	17,881,245	10.9	2,548,571	14.3
3 民生費	75,384,725	43.0	70,381,108	42.7	5,003,617	7.1
4 衛生費	10,777,290	6.1	10,707,695	6.5	69,595	0.6
5 労働費	196,526	0.1	254,708	0.1	△ 58,182	△ 22.8
6 農林水産業費	1,862,324	1.1	1,801,732	1.1	60,592	3.4
7 商工費	14,931,343	8.5	15,241,474	9.2	△ 310,131	△ 2.0
8 土木費	14,465,546	8.2	12,775,576	7.8	1,689,970	13.2
9 消防費	4,842,223	2.8	4,722,602	2.9	119,621	2.5
10 教育費	17,854,485	10.2	16,083,447	9.8	1,771,038	11.0
11 災害復旧費	6	0.0	6	0.0	-	-
12 公債費	13,507,132	7.7	13,877,462	8.4	△ 370,330	△ 2.7
13 予備費	300,000	0.2	300,000	0.2	-	-
合 計	175,220,000	100.0	164,700,000	100.0	10,520,000	6.4

- ◆ 総務費は、定年退職手当の増加やふるさと納税の増加に伴う基金への積立金等の増加により、前年度対比25億4,857万円、14.3%の増額となっています。
- ◆ 民生費は、児童相談所の運営費や子どものための教育・保育給付費、障害福祉費の増加などにより、前年度対比50億362万円、7.1%の増額となっています。
- ◆ 衛生費は、新型コロナウイルス感染症予防接種等が減少する一方、総合保健センターの照明LED化工事等の増加により、前年度対比6,960万円、0.6%の増額となっています。
- ◆ 労働費は、労使会館建設事業の減少などにより、前年度対比5,818万円、22.8%の減額となっています。
- ◆ 商工費は、小栗公ゆかりの地観光促進事業等が増加する一方、金融機関への預託金や榛名湖温泉ゆうすげ空調設備更新工事等の減少により、前年度対比3億1,013万円、2.0%の減額となっています。
- ◆ 土木費は、豊岡だるま駅設置事業やスマートIC周辺集客施設等整備、烏川かわまちづくり整備等の増加により、前年度対比16億8,997万円、13.2%の増額となっています。
- ◆ 消防費は、吉井方面隊第1分団詰所改築工事が減少となる一方、高崎市・安中市消防組合負担金等の増加により、前年度対比1億1,962万円、2.5%の増額となっています。
- ◆ 教育費は、学校施設や中央図書館等の照明LED化工事や高崎経済大学への運営費交付金等の増加により、前年度対比17億7,104万円、11.0%の増額となっています。

3 歳出(性質別)

- ・ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費… 8 9 5 億 7, 0 2 7 万円、前年度対比 5. 9 %の増
- ・ 建設事業などの投資的経費… 1 3 3 億 8, 7 1 4 万円、前年度対比 2 8. 0 %の増

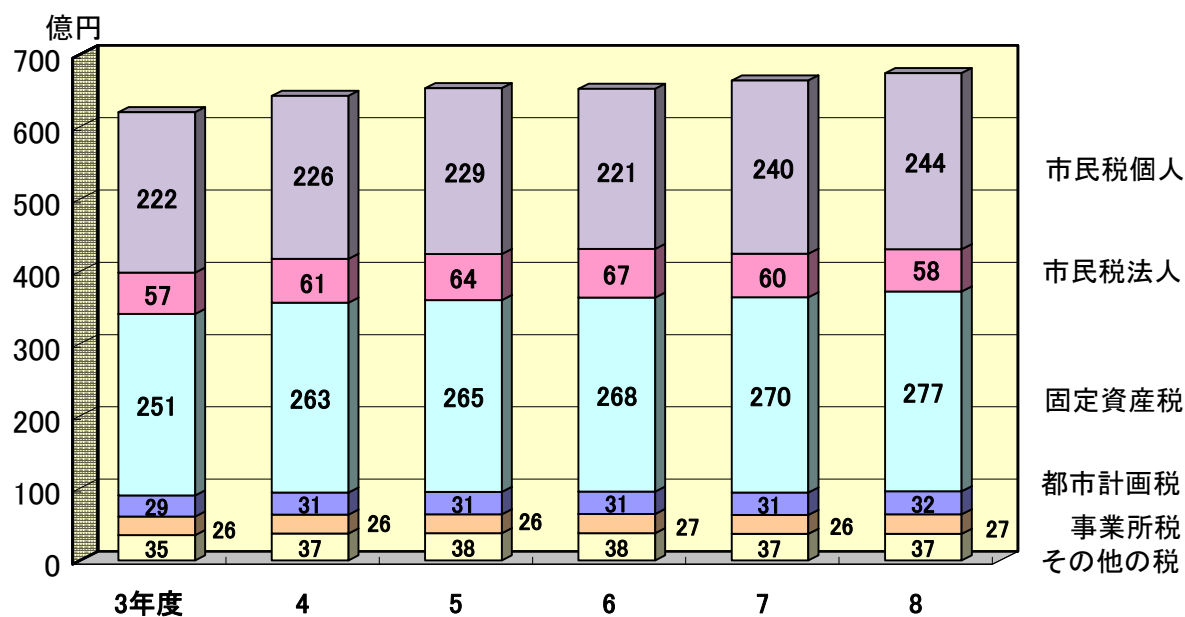
(単位：千円、%)

区 分	令和 8 年度		令和 7 年度		増 減 額	増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
(1) 義務的経費	89, 570, 269	51. 1	84, 592, 791	51. 4	4, 977, 478	5. 9
① 人件費	27, 529, 641	15. 7	26, 061, 380	15. 8	1, 468, 261	5. 6
② 扶助費	48, 533, 496	27. 7	44, 653, 949	27. 1	3, 879, 547	8. 7
③ 公債費	13, 507, 132	7. 7	13, 877, 462	8. 5	△ 370, 330	△ 2. 7
(2) 投資的経費	13, 387, 136	7. 6	10, 456, 553	6. 3	2, 930, 583	28. 0
① 普通建設事業	13, 387, 130	7. 6	10, 456, 547	6. 3	2, 930, 583	28. 0
補助事業	4, 930, 898	2. 8	4, 019, 326	2. 4	911, 572	22. 7
単独事業	8, 202, 544	4. 7	6, 110, 570	3. 7	2, 091, 974	34. 2
県営事業負担金	253, 688	0. 1	326, 651	0. 2	△ 72, 963	△ 22. 3
② 災害復旧事業	6	0. 0	6	0. 0	-	-
(3) その他経費	72, 262, 595	41. 3	69, 650, 656	42. 3	2, 611, 939	3. 8
① 物件費	25, 980, 169	14. 8	24, 985, 452	15. 2	994, 717	4. 0
② 補助費等	22, 391, 791	12. 8	21, 667, 480	13. 1	724, 311	3. 3
③ 貸付金	11, 076, 565	6. 3	11, 308, 081	6. 9	△ 231, 516	△ 2. 0
④ 繰出金	9, 925, 211	5. 7	9, 554, 153	5. 8	371, 058	3. 9
⑤ その他	2, 888, 859	1. 7	2, 135, 490	1. 3	753, 369	35. 3
合 計	175, 220, 000	100. 0	164, 700, 000	100. 0	10, 520, 000	6. 4

- ◆ 人件費は、定年退職手当や職員の給与改定に伴う影響などにより、前年度対比14億6,826万円、5.6%の増額となっています。
- ◆ 扶助費は、障害福祉費や保育所等への給付費の増加に加え、児童相談所の開設などにより、前年度対比38億7,955万円、8.7%の増額となっています。
- ◆ 普通建設事業は、労使会館の建設工事費等が減少する一方、豊岡だるま駅設置事業、スマートIC周辺集客施設等整備事業、烏川かわまちづくり整備事業及び市有施設における照明設備のLED化による工事費等の増加により、前年度対比29億3,058万円、28.0%の増額となっています。
- ◆ 物件費は、新型コロナウイルス感染症予防接種が減少する一方、物価高騰や人件費の上昇による委託費などへの影響により、前年度対比9億9,472万円、4.0%の増額となっています。
- ◆ 補助費等は、中小企業経営安定化助成金等が減少する一方、後期高齢者医療広域連合への負担金や高崎経済大学への運営費交付金等の増加により、前年度対比7億2,431万円、3.3%の増額となっています。
- ◆ 繰出金は、介護保険特別会計や後期高齢者医療特別会計における保険給付費等負担金の増加などにより、前年度対比3億7,106万円、3.9%の増額となっています。

4 その他の資料

(1) 地方税の推移(見込み)

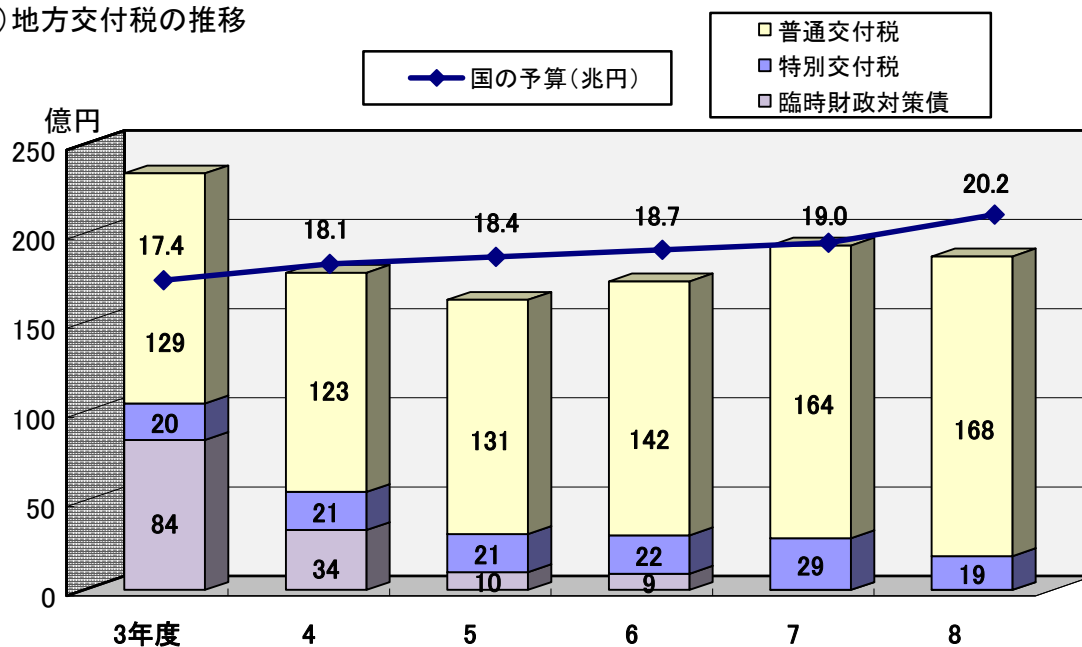


※3年度から6年度までは決算額

※7年度は現計予算額

※8年度は当初予算額

(2) 地方交付税の推移

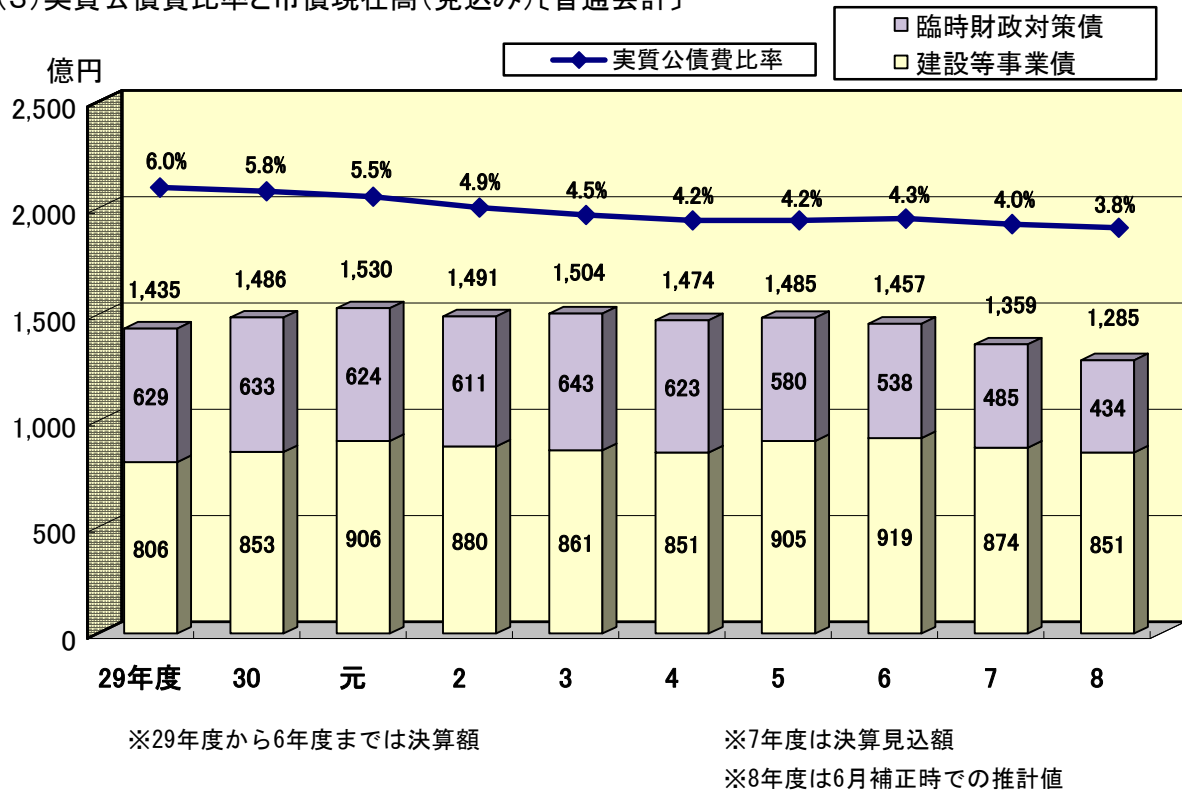


※3年度から6年度までは決算額

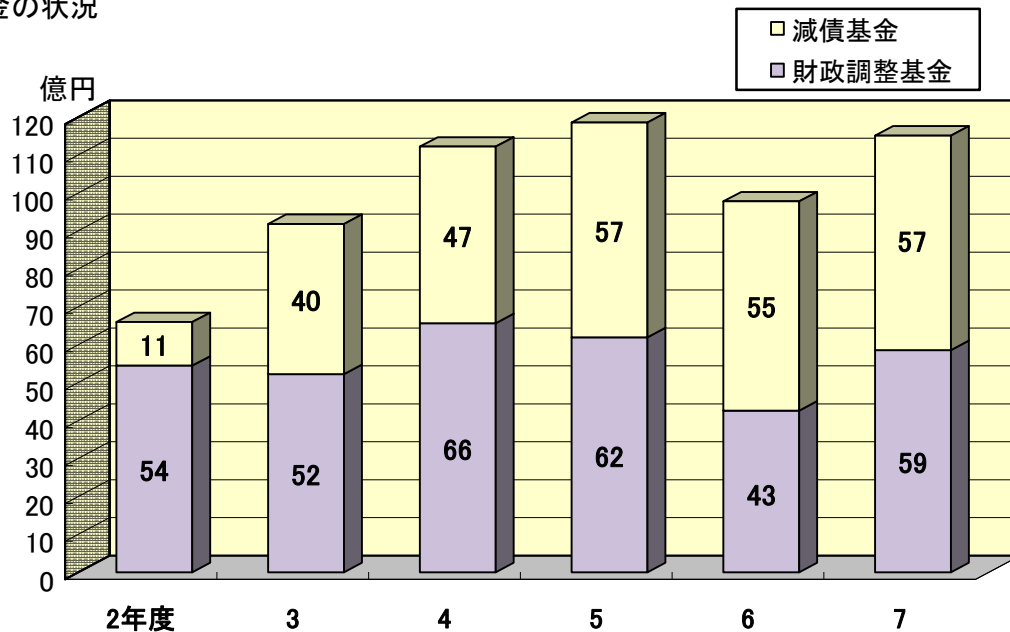
※7年度は決算見込額

※8年度は当初予算額

(3) 実質公債費比率と市債現在高(見込み)〔普通会計〕



(4) 基金の状況



※2年度から6年度までは決算額

※7年度は決算見込額

※後年度の臨時財政対策債の償還金として交付税措置された金額を、3年度に減債基金への積立を行っている（約23.0億円）。

【令和8年度当初予算の主要事業】

《教育と人づくり》

事業概要	予算額
(1) 市内全小学校の早朝開門 高崎市立の全小学校の早朝開門を実施することにより、子育て世帯を支援するとともに、朝早くから登校しなくてはならない児童の安全を確保する。	千円 19,446
(2) くらぶち英語村運営事業 全国の小中学生を対象に、倉渕地域の豊かな自然環境、農山村の生活文化及び歴史的資源を活用し、生きた英語に囲まれた環境の中で集団生活及び自然体験を行う山村留学を実施する。	170,588
(3) ヤングケアラーSOSサービス事業 家族の介護や家事、きょうだいの世話等をするヤングケアラーの負担を軽減するため、無料でサポーターを派遣し支援を行う。	87,428
(4) 学力アップ推進事業 放課後や土曜日等を活用した学習会を開催し、算数・数学を中心に基礎的、基本的な内容について学び、児童生徒の学習意欲の向上等を図る。令和8年度から、全小中学校において英語学習を開始する。	53,827
(5) 榛名室田地区3小学校統合経費 榛名室田地区の3小学校（上室田小・中室田小・下室田小）の統合により、令和9年4月1日に新たに室田小学校を設置するための準備を行う。	15,650
(6) 学校図書の充実 小・中学校の図書を充実させ、本に親しみ、豊かな心を育むことのできる学校図書館の環境整備を図る。	43,950
(7) 学校施設維持補修等の推進 学校施設の環境改善を図るため、外壁や設備改修等の工事を重点的に行う。 ・外壁改修工事 95,500千円 ・給水設備等改修工事 98,200千円	431,680
(8) 学校体育館への空調設備設置 学校体育館への空調設備の設置を進めることにより、学校活動における熱中症等の健康被害を防ぐとともに、災害時における避難者の生活環境の改善を図る。10校への設置を継続して進め、令和8年度で中学校が完了し、小学校に着手する。	534,361
(9) 小中学校給食費の完全無償化 令和8年度から、国等の交付金を活用した小学校給食費の完全無償化の実施に加え、市独自に中学校給食費の完全無償化を実施する。また、急激な食材価格の高騰に伴い、保護者負担が生じないように、引き続き給食材料費の高騰分を公費で負担する。	1,752,987
(10) GIGAスクール構想の推進 小、中、特別支援学校及び高崎経済大学附属高等学校に配備した1人1台のタブレット端末を利活用し、授業における学習内容をより深化・定着させるよう学習活動の充実を図る。	306,969

《産業の振興》

事業・概要	予算額
(1) 農業の振興（地産多消の推進） ・ 農業者新規創造活動事業補助 120,000千円 新品種・新商品の開発や、商工業者と連携した6次産業化の推進のほか、市内産農畜産物の販路拡大に向けた取り組みに挑戦する農業者を総合的に支援する。 ・ 農地再生推進事業補助 80,000千円 ・ かがやけ新規就農者応援給付金 13,500千円	千円 213,500
(2) 地元企業への支援策 ・ 中小企業経営安定化助成 370,000千円 ・ 職場環境改善事業 100,000千円 ・ まちなか経済情報センター事業 11,000千円 ・ 中小企業者資格取得支援事業 14,000千円 ・ まちなか商店リニューアル助成 280,000千円 ・ 飲食店衛生向上リニューアル特別助成 45,000千円 ・ 住環境改善助成 85,000千円	905,000
(3) ビジネス誘致の推進 市内への企業誘致の促進や市内企業の定着を推進するための取り組みを支援する。 ・ 高崎シティプロモーション事業補助 27,000千円 ・ 産業立地振興奨励金 358,286千円 ・ ビジネス立地奨励金 536,231千円	921,517
(4) スマートＩＣ周辺集客施設等整備 産業団地Ａ地区及びＢ地区における集客施設の整備に伴い、施設利用者の利便性や交通安全対策等のため、両地区を結ぶ連絡橋等の工事を行うとともに、運営事業者への出資を行う。	669,377

《文化と歴史を活かした創造的な高崎》

事業・概要	予算額
(1) 文化事業の振興 芸術文化活動の育成・促進や地域の文化活動を支援し、賑わいを創出する。 ・ まちなか音楽活動助成事業補助 11,000千円 ・ TAKASAKI CITY ROCK FES. の開催 50,000千円	千円 315,932
(2) スポーツの振興 ・ スポーツイベント等開催支援 40,128千円 ・ 高崎市民スポーツパーク（仮称）の整備 93,200千円 ・ 体育施設への空調設備設置 57,040千円	318,868
(3) 歴史を活かしたまちづくり ・ 小栗公ゆかりの地観光促進事業 161,629千円 2027年放送のNHK大河ドラマで描かれる小栗公終焉の地である倉渕地域の魅力発信をはじめ、本市全域の観光促進を図るため、記念館建設への支援やPR活動を行う。 ・ 「世界の記憶」上野三碑の保存活用 30,568千円 ・ 多胡碑記念館リニューアル事業 30,000千円 ・ 史跡等の保存整備及び発掘調査 172,798千円	418,095

《やさしい眼差しに満ちた市政》

事 業	概 要	予 算 額
		千円
(1) 子育て関連支援		2,151,733
・ 子育てＳＯＳサービス事業	41,879千円	
・ 保育所入所待機解消支援事業	114,000千円	
・ 保育所等整備事業費補助	240,340千円	
・ 病児・病後児保育や一時預かり保育の支援	283,955千円	
・ 保育・介護人材確保事業	34,000千円	
・ 「気になる子」支援	57,880千円	
・ 公立保育所緊急修繕・整備	46,200千円	
・ 放課後児童クラブの充実	1,333,479千円	
放課後児童クラブに関する「運営にかかる保護者負担の軽減」や「支援員の確保」に対する支援を新たに行い、児童の健全育成環境のさらなる充実を図る。		
(2) 児童相談所の運営		1,188,197
「高崎の子どもは高崎で守る」の理念のもと、「行動する児童相談所」として、各種事業を実施する。		
(3) 福祉の充実		1,667,354
・ 障害児等特別助成	6,000千円	
・ 障害者支援ＳＯＳセンターの運営	12,117千円	
・ 倉渕就労継続支援施設運営事業	37,692千円	
・ 長寿会活動等促進事業補助	50,000千円	
・ おとしよりぐるりんタクシーの運行	300,031千円	
・ 介護ＳＯＳサービス事業	89,000千円	
・ 高齢者力仕事ＳＯＳサービス事業	95,133千円	
・ 出張理美容サービス委託	2,617千円	
・ 高齢者等あんしん見守りシステムの充実	420,439千円	
・ 高齢者あんしんセンターの運営	640,210千円	
・ 高齢者福祉なんでも相談センターの運営	14,115千円	
(4) 救急医療体制の充実		288,732
・ 救急患者の受入促進	72,730千円	
・ 救急患者受入体制整備支援	49,000千円	
・ 脳卒中患者受入体制強化	40,000千円	
・ 心疾患患者受入強化	7,500千円	
・ ドクターカー購入支援補助	5,028千円	
(5) 小児救急医療体制の充実		51,465
・ 小児救急医療体制整備補助	21,500千円	
・ 夜間小児救急医療体制の確保	11,265千円	
・ 小児救急医師の確保	18,700千円	
(6) 母子健康支援事業の充実		647,762
・ 妊婦初回産科受診料助成	9,000千円	
・ 妊婦健康診査特別助成	22,000千円	
・ 不妊・不育症治療費助成	141,018千円	
・ 産婦健康診査	21,132千円	
・ 産後ケア事業	110,036千円	
・ 小児慢性特定疾病医療費等特別助成	6,170千円	
・ 特定疾病小児等特別支援	28,600千円	
・ 妊婦等のための支援事業	246,603千円	
・ 出産お祝い金交付事業	63,203千円	

《合併した地域の個性を活かした魅力づくり》

事業概要	予算額
(1) 箕郷多目的運動場（仮称）の整備 高齢者をはじめとする多世代の人が気軽に運動できる施設として地域の防災拠点機能も兼ね備えた多目的運動場を整備する。	千円 202,780
(2) 榛名湖周辺の観光振興 観光スポットとして人気の高い榛名湖の更なる誘客を図るため、ロックコンサート等のイベントを開催できる湖上ステージ等を整備する。	128,366
(3) 牛伏山を花で囲むプロジェクトの推進 森林環境譲与税を活用して、牛伏山自然公園を5か年計画で整備し、四季折々の花木を植栽することで周辺地域のさらなる魅力向上を図る。	40,100
(4) 倉淵・榛名・吉井地域への移住・定住を促進	80,000
(5) 市内全域の道路の維持・補修 ・道路補修工事 333,000千円 ・支所地域維持補修工事 210,000千円	882,507
(6) 高崎市合併20周年記念式典開催事業	10,000

《安心・安全な地域社会づくり》

事業概要	予算額
(1) 防災対策事業の推進 ・消防団車両の充実 51,000千円 ・自主防災組織への支援 21,000千円	千円 83,715
(2) 道路穴ぼこ改修特別整備 健全な道路環境を保持し、市民生活の安心安全を確保するために緊急舗装工事を5か年で集中的に実施する。	200,000
(3) 交通安全対策 ・交通安全施設整備工事 98,000千円 ・通学路安全対策工事 22,000千円 ・踏切保安設備整備事業補助 50,877千円	170,877
(4) 防犯対策事業の推進 ・住まいの防犯対策補助 10,000千円 ・自警団パトロール活動補助 19,400千円	29,400
(5) 高齢者等のごみ出し支援 自身でのごみ出しが困難な高齢者世帯等を対象に、戸別訪問によるごみ収集を実施する。	148,050
(6) 窓口DX事業 転入手続き等に係る待ち時間の短縮や利便性の向上を図るため、届出書等の記載負担を軽減する「窓口支援システム」及びキャッシュレス決済対応のセミセルフレジを導入する。	44,042
(7) 区長報酬等の増額	571,000

《大勢の人が歩き、賑わう街》

事業・概要	予算額
(1) 中心市街地の活性化と観光施策の拡充 ・高崎じまん等の支援 100,240千円 ・お店ぐるりんタクシーの運行 39,749千円 ・高崎の食発信事業 40,000千円 ・高崎だるま市開催補助 14,000千円 ・高崎まつり補助 70,000千円	千円 263,989
(2) 豊岡だるま駅設置事業 公共交通網の強化と地域住民の利便性向上のため、J R信越本線北高崎駅・群馬八幡駅間に新駅を設置する。	1,585,284
(3) 市街地再開発事業 ・高崎駅東口栄町地区 716,394千円 ・宮元町第二地区 300,000千円	1,016,394
(4) まちなか小さな公園美化大作戦5か年計画 街中にある小さな公園を計画的に美化することにより、地域住民の憩いの場となるよう整備を行う。	228,145
(5) 烏川かわまちづくり整備事業 烏川と街中との回遊性を高めるとともに、更なる水辺空間の魅力向上や高崎産フルーツなど農産物のブランド化を図るため、地域や民間と連携し、主に榛名地域の果物を提供するレストハウスを新たに整備する。	379,408
(6) 空き家緊急総合対策助成 全国で問題となっている空き家に対する総合的かつ効果的な支援策として、老朽化した危険空き家の解体費や、サロン、事務所・店舗または居住目的のための空き家改修費等に係る経費への助成を引き続き実施する。	90,000